

災害医療について

COVID-19を振り返り

令和 6 年能登半島地震を踏まえて

2024年3月12日

東京都医師会 理事 小平祐造

COVID-19パンデミック
と
令和6年能登半島地震

医療提供における共通の課題は？

多数の高齢者

サージ キャパシティの問題

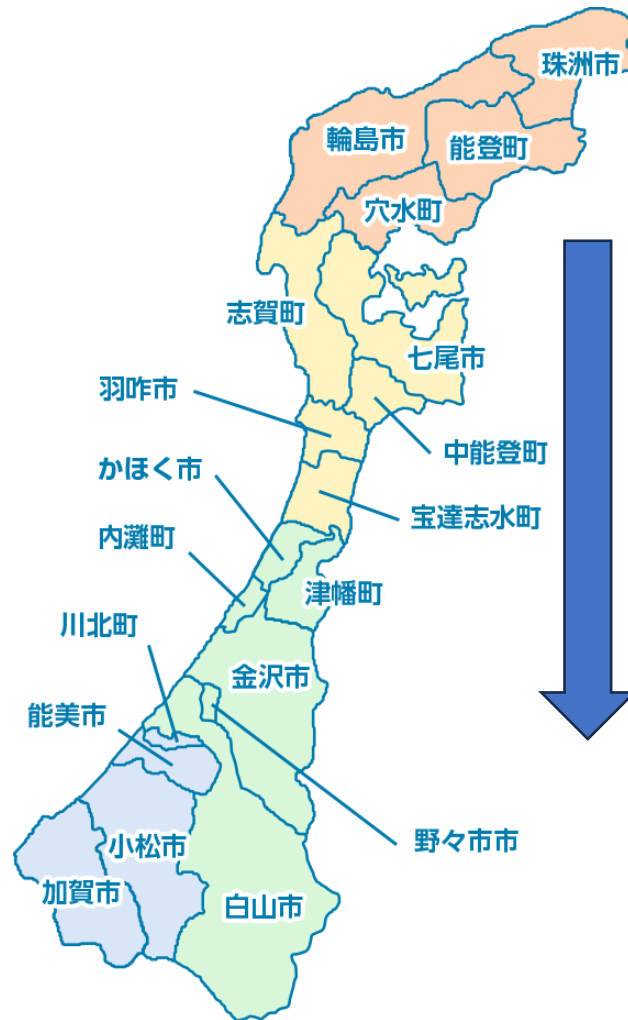
一気に増大する患者等の波を受容する医療提供体制

高齢者サージをいかに受け止めるかが課題となる

高齢者特有の事情

- ・ 認知症
- ・ 高い介護度
- ・ 複数の慢性疾患
- ・ 施設でのクラスター発生
- ・ 施設避難の必要性
- ・ 移動能力

県南部への避難



6000人を超える2次避難者

大規模避難所（1.5次避難）

石川県 いしかわ総合スポーツセンター サブアリーナ



介護度の高い寝たきり高齢者が長期間滞在

首都 荒川氾濫による水害



国土交通省洪水浸水想定区域図

長期湛水の江東5区から多数の避難者が西側へ

(事例 2020年台風19号 氾濫なし 19万人の避難)

サージキャパシティの確保のために

臨時施設の設置

(事業内容)

- 1 隔離・感染管理
- 2 疾病の経過観察
- 3 医療提供
- 4 避難・収容（生活支援） などの実施が可能

東京特別区（23区）の避難所

約 94%

避難所が 小中学校・体育館の割合

今回コロナ蔓延下で東京都が開設した臨時施設

1 宿泊療養施設

(ビジネスホテルを利用) 30施設 11,509室

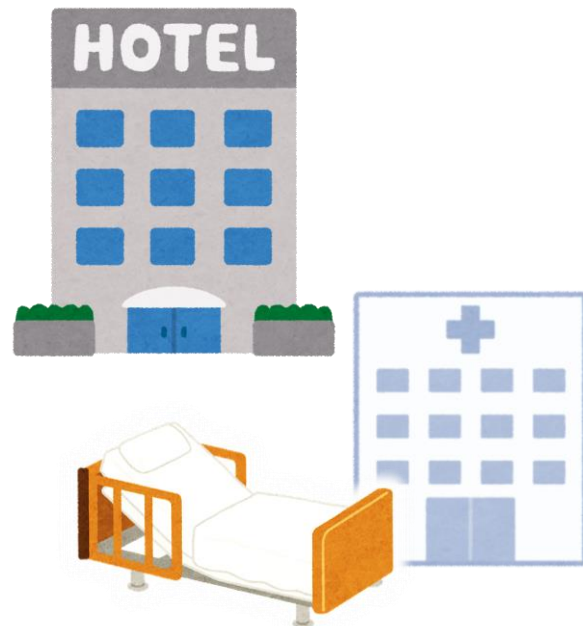
2 酸素・医療提供ステーション

(病院の一部、空き施設) 6施設 609床

3 高齢者等医療支援型施設

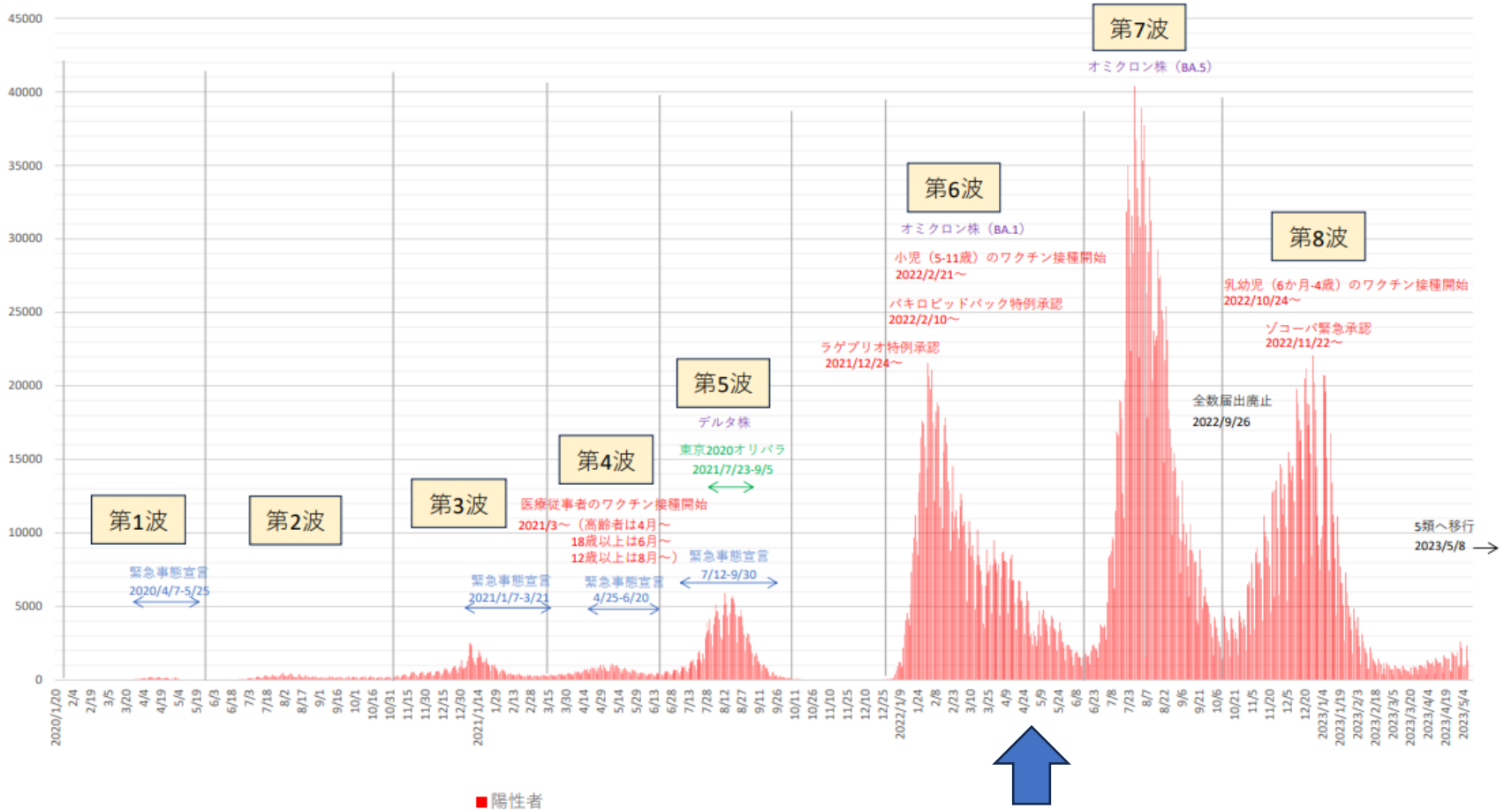
(療養施設、病院の一部、移転後の空き病院、空き施設)

9施設 842床



病院やホテルなど居住性の高い施設を展開

東京都における新型コロナ感染状況の推移（2020/1/20～2023/5/8）



2022年4月 高齢者臨時医療施設

感染者数の増大に対し応急の施設を開設

これまでの災害危機対応の問題点 有事と平時

1 感染症パンデミック対策

平時の医療を縮小して対応してきた

病床確保・発熱外来・救急対応・待機手術

2 災害対応に関して

平時の医療を倍増して対応する計画

(東京都 災害医療計画)

災害拠点病院は 入院2倍・外来5倍・重症者160人 の受け入れ想定

災害・感染対策の臨時医療施設を提案

- ・ 臨時の医療施設を **平時より設置**

通常医療は行わない

平時には他の目的で運用

有事には医師会・病院団体から医療支援

- ・ 居住性のある質の高い避難所を **平時から準備**

避難所の「質向上」



スフィア スタンドアード 避難所の国際基準
日本医師会マニュアル
内閣府防災避難所運営ガイドライン (H28.4)